

PET-CT 検査同意書

PET-CT 検査を受けるに当たって、次の点をご理解くださるようお願いいたします。

PET-CT検査の注意事項について

- ★ 検査の5時間以上前から絶食してください。ただし、糖分を含まないお水やお茶の水分補給はしても構いません。糖尿病の方は、検査当日の飲み薬及びインシュリン注射も控えてください。
- ★ 検査前日と当日の運動は控えてください。また、自転車での来院は控えてください。
- ★ 妊娠中または授乳中の方は検査が出来ませんのでご了承ください。
- ★ 検査終了当日は、乳幼児や妊婦との接触を控えてください。

FDG-PET 検査について

- ★ 検査はFDGというお薬を静脈注射した後、待機室で1時間安静にし、PET-CT装置で撮影します。さらに30分から1時間後に、もう一度撮影を行うこともあります。
- ★ 検査は全体で3時間程度です。ただし、検査目的や体格等により所要時間が変わります。

PET-CT検査の安全性と危険性について

- ★ PET-CT検査ではFDG(フルデオキシグルコース)という放射性同位元素を使用しますが、この検査薬による重篤な副作用の報告はありません。もし、副作用が発生した場合は、担当医師等が適切に対処いたします
- ★ 1回のPET検査での被ばく量は2~3mSvで、バリウムを使用した胃のレントゲン撮影と同じ程度です。同時に撮影するCTによる被ばく量は、検査の内容に応じて必要最低限の量に最適化いたします。全体で約6~10mSvになります。身体への影響は心配ない線量です。

PET-CT検査の限界について

- ★ 病巣の種類(多くの早期がん、糖代謝の低いがん、検査薬の集積が元々強い臓器に発生したがんなど)やサイズ(概ね1cm未満)によっては、発見できない場合があります。また、追加の撮影(MRIや造影CTなど)が必要となる場合もあります。

PET-CT検査の医学的利用について

- ★ 検査結果や画像を、医学学会や医学雑誌に発表させていただく場合があります。ただし、氏名などのプライバシーに関する個人情報は、一切発表いたしません。

医療スタッフの対応について

- ★ 検査薬を注射した後の患者様からは、放射線が出ることになります。医療スタッフが受ける被曝を軽減するため、患者様の状態把握や案内は、待機室や廊下に設置した監視カメラによる映像と、インターホンによる音声で行うことをご理解ください。

検査を受診することに同意された後でも、いつでもそれを撤回することができます。ただし、PET-CT検査では、受診される方に合わせて事前にFDG検査薬を用意致します。この検査薬は短時間で減衰する為、ご予約の時間にご来院いただけない場合、検査を実施できない場合があります。また検査当日にキャンセルされた場合も、FDG検査薬の実費はご負担いただくこととなりますので、どうかご了承くださいませ。

FDG 薬品代 49,720円

社会福祉法人 恩賜財団

済生会今治病院 院長

年 月 日

私は以上の説明を読み、十分理解しましたので受診することに同意いたします。

氏名

Ⓢ

説明医師

(受診者ご本人の自筆にて署名をお願いします)